

城南家保ニュース Vol.25-10

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



肉用牛繁殖飼養管理技術講演会が開催されました。

平成25年12月17日にあさぎり町須恵文化ホールで、くま農業活性化協議会畜産部会と球磨畜産農業協同組合の主催による肉用牛繁殖飼養管理技術講演会が開催されました。

第1部では、シェパード中央家畜診療所の松本大策獣医師による講演があり、「現場の状況からわかる牛さんのSOS」というテーマで、豊富な資料と丁寧な話し方によるわかりやすい説明がありました。農場にどのような問題があるのか？そしてその原因は何か？その対処は何をすれば良いのか？ということをつまみ、多くの例の紹介がありました。例えば、子牛の下痢が多いという問題には、初乳がうまく与えられていないことや寄生虫等の感染症、栄養性のもなどのいくつかの理由があります。そのなかでも母牛が初乳を分娩後すぐに与えないのは、母牛の経験不足の他に分娩で体力がなくなっている、産道や子宮の痛みによる等の理由も考えられます。このように子牛の下痢というひとつの問題に対しても様々な理由が考えられ、それぞれに適切な解決法を行なって欲しいと考えています。



シェパード中央家畜診療所 松本獣医師



城南家畜保健衛生所 川邊参事

第2部では城南家畜保健衛生所の川邊参事から、「家畜伝染病の予防のためには～飼養衛生管理基準の徹底～」というタイトルで、伝染病を流行させないようにするにはどんな点に気をつければ良いのかという内容の講演がありました。家畜伝染病を流行させないためには早期の発見と通報、発生時の初動防疫も重要ですが、日常から発生予防に努めることが最も重要です。そのための飼養衛生管理基準や正しい消毒法などを、優良事例や研究結果などを紹介しながら説明し、今回の講演による球磨地域の繁殖農家のさらなる衛生意識の向上が望まれました。

管内で初のHACCP推進農場が誕生しました。

平成 25 年 12 月 24 日にあさぎり町の高田養鶏場が農場 HACCP の推進農場として指定を受けました。農場 HACCP 推進農場の指定は、県内では 4 番目で管内では初めてです。高田養鶏場では、3 年前から農場 HACCP へ着手しており、衛生管理方針や作業マニュアルの作成などを行い、安全安心な卵の生産を行っています。

今回の高田養鶏場での HACCP 構築は、家畜保健衛生所が中心となり、熊本県畜産協会や飼料会社などの関連機関と連携し取り組んできたものです。その結果、HACCP 構築により従業員のモチベーションや衛生意識が向上し、安全な畜産物の生産や生産性の向上などにも大きな効果が見られています。家畜保健衛生所では HACCP 構築による安全で国際競争に強い畜産物の生産を目指し、管内での普及を推進しており、今後の推進農場の増加に期待しています。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	7月22日	牛・羊	O
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	12月21日	家きん	H5N2
	中国	12月27日	家きん	H5N1
低病原性 鳥インフルエンザ	台湾	11月4日	あひる	H5N3
狂犬病	台湾	継続中	イタチアナグマ	

今月号の前半で紹介しましたシェパード家畜診療所の松本大策先生の講演の後から、シェパード家畜診療所のホームページに載っているコラムを読むようになりました。専門用語にもわかりやすい説明が加えてあるため読みやすく、また今度実践してみよう勉強しようと思うことがいくつもありました。みなさんも一度見られてみてはいかがでしょうか。(K・F)

家畜の異常を発見したら、迅速に家畜保健衛生所までご連絡下さい！